

# お客さま本位の業務運営に関する 取組状況

2025年5月

地域のくらしの応援団



## お客さま本位の業務運営に関する基本方針に係る取組

当金庫は、2018年10月1日に「お客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）」の基本方針を制定しました。

具体的な取組状況については、当庫の事業年度に合わせた毎年3月末時点での状況を公表することとしています。

今後も、お客さまのお役に立てれるように、商品・サービス等の向上に向けた取組みを継続実施し、定期的に見直しを図ることにより、お客さまより選ばれる金融機関を目指していきます。【原則1】

【原則】は、金融庁が公表している「顧客本位の業務運営に関する原則」との対応を示しています。

# お客さま本位の業務運営 取組方針

## 1. お客さまの最善の利益を追求【原則2】

当金庫は、お客さまのニーズとご意向を踏まえた商品・サービスを提供するために、役職員が高い専門性と職業倫理を持って誠実・公正に業務を行い、お客さまの最善の利益を追求いたします。

### アクションプラン

- ・各種研修等を通じ、高い専門性と職業倫理を持った人材の育成に努めます。
- ・ご提案に際しては、お客さまの取引経験、知識、資産の状況、取引の目的、およびリスクに関する考え方等を踏まえ、安定的な資産形成・資産運用のための提案をおこない、お客さまの最善の利益を追求いたします。

## 2. 利益相反の適切な管理【原則3】

当金庫は、一部の特定な資産運用会社や保険会社に偏った商品を提案するような行為はいたしません。また、お客さまの利益が不当に損なわれることがないよう、お客さまの利益保護に努め、利益相反の管理を徹底いたします。

### アクションプラン

- ・投資信託商品のご提案に際しては、リターン、リスクおよび手数料について適切な説明を行います。
- ・新商品は、利益相反に関するチェックを行ったうえで導入いたします。

### 3. 商品・サービス等の分かりやすい説明【原則4】【原則5】

当金庫は、商品やサービスに係る重要な情報や手数料について、専門用語を用いず、お客さまの誤解、誤認を招かないように丁寧かつ分かりやすい説明をいたします。

#### アクションプラン

- ・投資信託商品のリターン、リスク、取引条件等の重要な情報については、「重要情報シート」等を使用し、分かりやすい説明を行うよう努めます。
- ・役職員がお客さまに分かりやすい説明ができるよう、教育・研修等の充実を図ります。

### 4. お客さまのニーズに沿ったサービスの提供【原則6】

当金庫は、お客さまの資産状況、取引経験、知識、取引目的、ニーズにあった適切な商品・サービスを提供いたします。またお客さまの様々なニーズにお応えできるように金融商品の充実に努め、お客さまにとって最適な商品・サービスを提供いたします。

#### アクションプラン

- ・金融商品のご提案を行う際は、お客さまの資産状況、取引経験、知識、取引目的、ニーズならびにご意向を伺ったうえで、具体的な金融商品のご提案を行うようにいたします。
- ・仕組みが複雑又はリスクの高い金融商品のご提案を行う場合には、お客さまの属性等を踏まえ、事前に当該商品のご提案が適切かどうかの判断をいたします。
- ・役職員がお客さまに最適な商品をご提案できるよう、研修等を通じ金融商品の仕組み等に係る理解を深めるように努めます。

## 5. 職員に対する適切な動機づけの枠組み等【原則7】

当金庫は、お客さま本位の営業活動を実践するために、継続的に職員研修を実施し、お客さまが真に求める最適な商品・サービスが提供できるよう、人材の育成強化に努めて、お客さま本位の取組みに向けた態勢整備を行います。

### アクションプラン

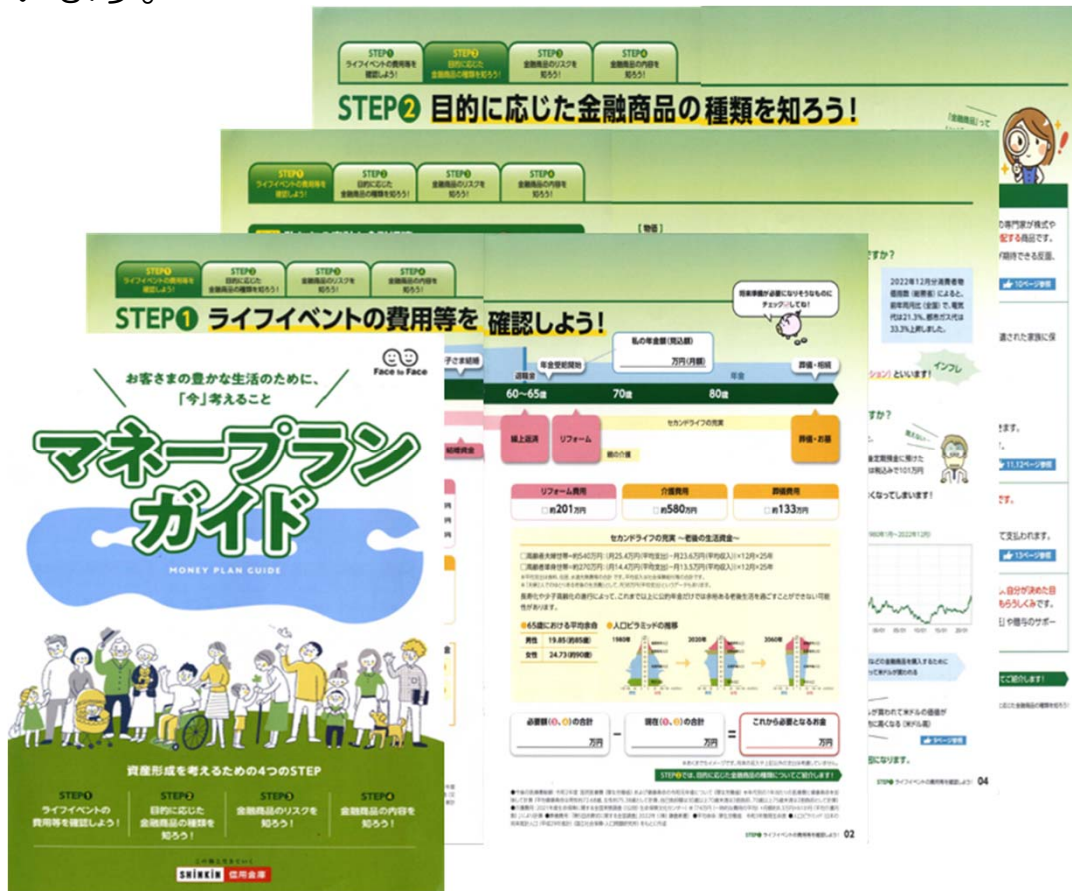
- お客さまに最適な商品・サービス等が提供できるよう、研修等を通じて人材の育成に努めます。
- お客さまの多様なニーズにお応えし、お客さまの最善の利益を追求するために、専門資格の取得を推奨いたします。



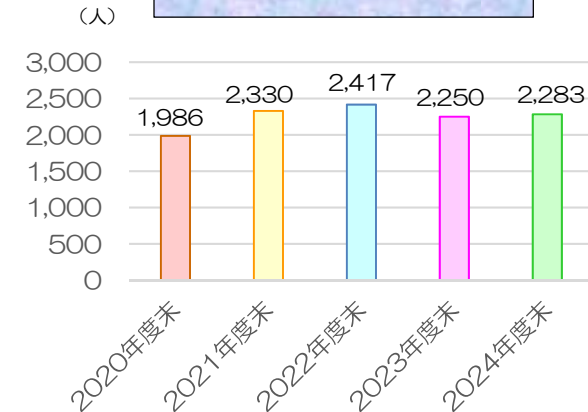
# お客さま本位の業務運営に関する取組状況

## 1. お客さまのライフプランやご意向に沿ったご提案【原則6】

ご提案に際しては、お客さまの取引経験、知識、資産の状況、取引の目的、およびリスクに関する考え方等を踏まえ、安定的な資産形成・資産運用のための提案をおこなっています。



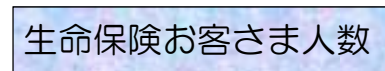
投信信託保有お客さま人数



NISA口座数







お客様の多様なニーズにお応えできるよう、様々な対象商品をラインアップしています。

## ※2025年3月31日現在

		成長 投資枠	ファンド名	運用会社
債券	海外	○	ニッセイ/パトナム・インカムオープン	ニッセイアセットマネジメント
			ニッセイ/パトナム・毎月分配インカムオープン	ニッセイアセットマネジメント
		○	DIAM高格付インカム・オープン（1年決算コース）	アセットマネジメントOne
			DIAM高格付インカム・オープン（毎月決算コース）	アセットマネジメントOne
	内外		グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	三菱UFアセット・マネジメント
		グローバル・ソブリン・オープン（資産成長型）	三菱UFアセット・マネジメント	
資産複合	内外	○	しんきん3資産ファンド（1年決算型）	しんきんアセットマネジメント投信
			しんきん3資産ファンド（毎月決算型）	しんきんアセットマネジメント投信
		○	リスク抑制世界8資産バランスファンド	アセットマネジメントOne
		○	しんきん世界アロケーションファンド	しんきんアセットマネジメント投信
		○	投資のソムリエ	アセットマネジメントOne
		○	のむらupp・ファンド（普通型）	野村アセットマネジメント
株式	国内	○	しんきんインデックスファンド225	しんきんアセットマネジメント投信
		○	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	三井住友DSアセットマネジメント
		○	しんきんJPX日経400オープン	しんきんアセットマネジメント投信
		○	三井住友・げんきシニアライフ・オープン	三井住友DSアセットマネジメント
		○	しんきん好配当利回り株ファンド	しんきんアセットマネジメント投信
		○	しんきん世界好配当利回り株ファンド（1年決算型）	しんきんアセットマネジメント投信
	海外		しんきん世界好配当利回り株ファンド（毎月決算型）	しんきんアセットマネジメント投信
		○	三井住友・NYダウ・ジーンズ・インデックスファンド（為替ノーヘッジ型）	三井住友DSアセットマネジメント
		○	しんきんS&P500インデックスファンド	しんきんアセットマネジメント投信
		○	インデックスファンドNASDAQ100（アメリカ株式）	日興アセットマネジメント
		○	netWINGSテクノロジー株式ファンドBコース（為替ヘッジなし）	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
		内外	○	グローバルAIファンド（為替ノーヘッジ型）
	○		グローバルSDGs株式ファンド	三井住友DSアセットマネジメント
	不動産投信	国内	○	しんきんJリートオープン（1年決算型）
			しんきんJリートオープン（毎月決算型）	しんきんアセットマネジメント投信
内外		○	三井住友・グローバル・リートオープン（1年決算型）	三井住友DSアセットマネジメント
			三井住友・グローバル・リートオープン	三井住友DSアセットマネジメント

なお、当金庫で取扱いをしている投資信託の購入時手数料・信託報酬などは、各商品目論見書に加え、投資信託ラインアップ、重要情報シートにてご確認ください。【原則4】 【原則5】

[illegible][illegible]

当金庫で取扱いを行っている投資信託商品の累積リターン（６ヶ月、１年、３年）は、当庫ホームページ（<https://www.hanshin-ca.co.jp/>）において時事通信社提供のデータにてご確認することができます。（累積リターンの値は、前月末時点のものとなります）

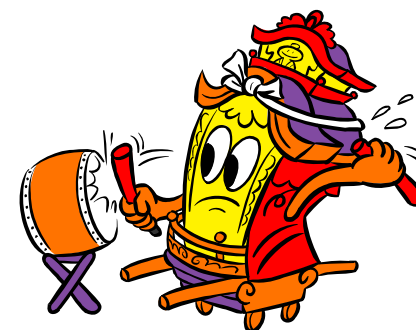


## 投資信託商品（つみたて投資枠）

※2025年3月31日現在

		ファンド名	運用会社
資産複合	内外	たわらノーロード バランス（8資産均等型）	アセットマネジメントOne
株式	国内	たわらノーロード日経225	アセットマネジメントOne
	国内	たわらノーロードTOPIX	アセットマネジメントOne
	海外	たわらノーロード新興国株式	アセットマネジメントOne
	海外	たわらノーロード先進国株式	アセットマネジメントOne
	海外	たわらノーロード先進国株式＜為替ヘッジあり＞	アセットマネジメントOne
	海外	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド（為替ノーヘッジ型）	三井住友DSアセットマネジメント

2024年度は、新たな投資信託の商品導入・販売停止は行いませんでしたが、お客さまのニーズや利益に敵う商品・サービスの提供ができるよう、商品ラインアップを順次見直ししていく予定です。



## 生命保険商品

※2025年3月31日現在

保険種類	商品名	引受保険会社名
個人年金保険	たのしみ未来	住友生命保険相互会社
一時払終身保険	しんきんらいふ終身F S	フコクしんらい生命保険株式会社
	ふるはーとJロードプラスⅢ	住友生命保険相互会社
平準払終身保険	ふるはーとF	住友生命保険相互会社
	ユニット・リンク介護+	アクサ生命保険株式会社
定期保険	ハローキティの定期保険	フコクしんらい生命保険株式会社
収入保障保険	メディフィット収入保障保険	メディケア生命保険株式会社
学資保険	夢みるこどもの学資保険	アフラック生命保険株式会社
医療保険	REASON	アフラック生命保険株式会社
	新メディフィットA	メディケア生命保険株式会社
	新メディフィットRe	メディケア生命保険株式会社
がん保険	『生きる』を創るがん保険 WINGS	アフラック生命保険株式会社
	がん診断保険R	東京海上日動あんしん生命保険株式会社
介護保険	しっかり頼れる介護保険	アフラック生命保険株式会社

2024年度は、新たな商品の導入・見直しを行いませんでしたが、お客さまの最善の利益を図るため、商品ラインアップは順次見直しをしていく予定です。

当金庫の保険商品の選定にあたっては、保障内容、保険料、付帯サービス、引受保険会社の販売支援体制等を比較検討した上で、お客さまのニーズにお応えできる商品ラインアップになるように努めております。

またお客さま自身が商品の比較・選択ができるように、1つの商品群に対して2つ以上の商品体制とするよう体制整備を行っています。【原則6】

## 損害保険商品

※2025年3月31日現在

保険種類	商品名	引受保険会社名
傷害保険	標準傷害保険	共栄火災海上保険株式会社
	標準傷害保険「キッズプラン」	共栄火災海上保険株式会社
ペット保険	どうぶつ健保	アニコム損害保険株式会社
業務災害保険	ビジネスプラン	共栄火災海上保険株式会社
	ハイパー任意労災	A I G損害保険株式会社
長期火災保険	しんきんグッドすまいる	共栄火災海上保険株式会社
債務返済支援保険	しんきんグッドサポート	共栄火災海上保険株式会社

投資信託・保険商品以外にも、個人向け国債、iDeCo・個人向け信託商品等をラインアップしています。



### 3. お客様本位の業務運営を実践するための態勢【原則2】【原則5】【原則7】

お客様本位の業務運営を実践するために、高い専門性と職業倫理を持った人材を育成し、より良い販売態勢の整備に努めます。

#### 【投資信託】

研修内容	対象者	回数
投信コンプライアンス研修	各店職員	1
営業責任者研修	部店長	1
内部管理責任者研修	次席者	1

#### 【保険】

研修内容	対象者	回数
保険販売総論	各店職員	2
個別商品研修	各店職員	1
モチベーションアップ研修	各店職員	1

#### 【社外講師】

実施時期	研修内容	研修講師
2024年6月	長期・分散・積立	ファイナンシャルジャパン様
2024年6月	投信セールス研修	三井住友DSアセット様
2024年8月	投信セールス研修	三井住友DSアセット様
2024年10月	変額保険セールス研修	アクサ生命保険株式会社様
2024年12月	消費者心理と行動経済学	数理姓名学研究会様
2024年12月	長期・分散・積立	ファイナンシャルジャパン様
2024年12月	投信セールス研修	三井住友DSアセット様
2025年1月	投信セールス研修	日興アセットマネジメント様
2025年2月	認知症予防事前セミナー	フコクしんらい生命保険株式会社様
2025年3月	投信セールス研修	三井住友DSアセット様

☆2024年度は本部専任者（生命保険会社出身者2名、証券会社出身者2名）、社外講師による上記研修を実施いたしました。この他にも各部店にてスキルアップを図るため、各種研修を実施しております。

☆当金庫では職員が広い視野で物事を考えることができるように、できるだけ多くの社外講師による研修を実施しています。

☆2024年度は投資信託に精通した人材を育成すべく、ブロックでの選抜者（2名）に対し、10回シリーズ（1講座4時間30分）の研修を実施しました。（合計4ブロック実施）

☆お客様の多様なニーズにお応えし、お客様の最善の利益を追求するために、当金庫では役職員に対して資格取得支援制度を導入しています。引き続き 専門資格の取得を積極的に推進していきます。



～社外講師研修風景～

#### FP資格取得状況

FP3級以上者	職員数	取得率
175名	218名	80.28%

※2025年3月末現在（役員・嘱託・パート除く）

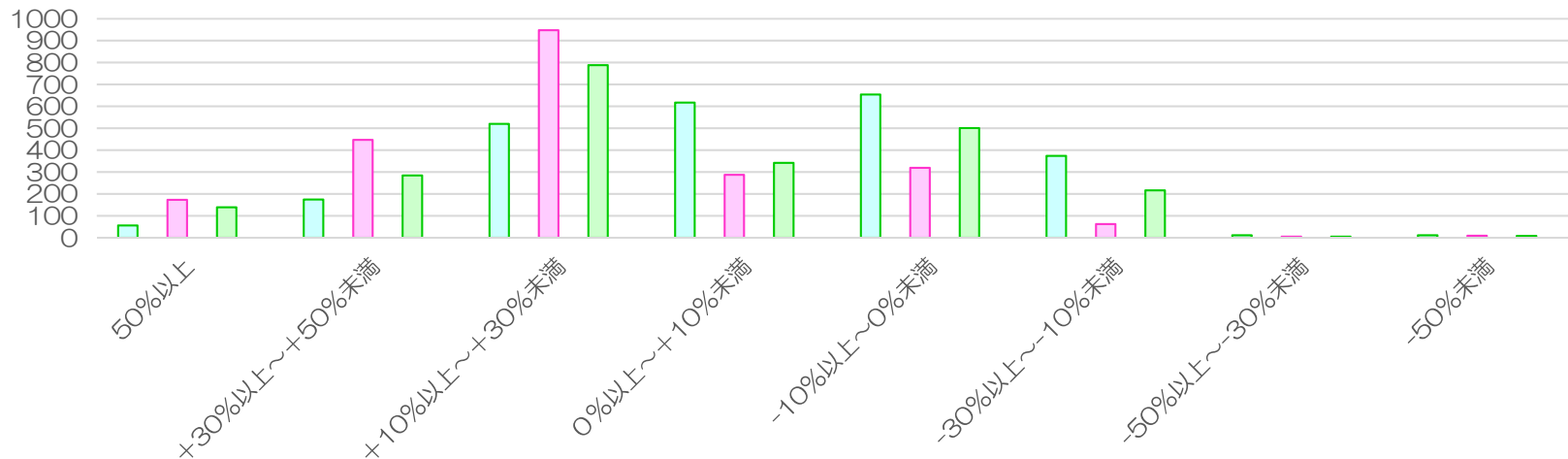


## 運用損益別顧客比率

お客さまにご購入いただいた投資信託の運用損益状況を区分毎に公表しております。  
2025年3月末時点において、68.0%のお客さまがプラスでした。

	2022年度		2023年度		2024年度	
	顧客数	割合	顧客数	割合	顧客数	割合
50%以上	56	2.3%	173	7.7%	139	6.1%
+30%以上～+50%未満	174	7.2%	447	19.9%	284	12.4%
+10%以上～+30%未満	520	21.5%	948	42.1%	788	34.5%
0%以上～+10%未満	617	25.5%	287	12.7%	342	15.0%
-10%以上～0%未満	654	27.1%	319	14.2%	501	21.9%
-30%以上～-10%未満	374	15.4%	62	2.8%	216	9.5%
-50%以上～-30%未満	11	0.5%	5	0.2%	5	0.2%
-50%未満	11	0.5%	9	0.4%	8	0.4%
合計	2,417	100.0%	2,250	100.0%	2,283	100.0%

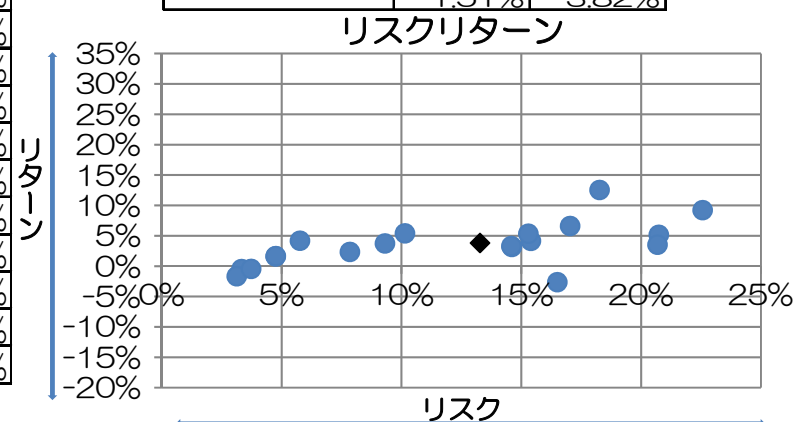
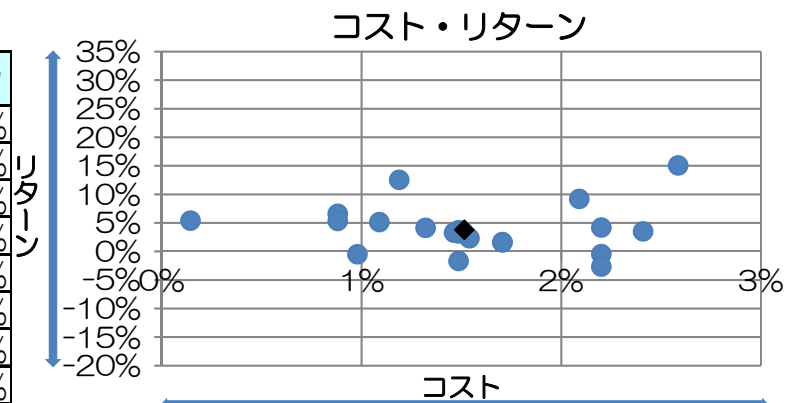
(お客さま人数)



基準日 : 2024年度は2025年3月末時点、2023年度は2024年3月末時点、2022年度は2023年3月末時点  
 運用損益 : 基準日時点の評価金額＋累計受取分配金額(税引後)＋累計売却金額－累計買付金額(販売手数料(税込)を含む)  
 運用損益率 : 上記運用損益を基準日時点の評価金額で除して算出  
 個々のお客さまが保有している投資信託について、購入時以降どれくらいのリターンが生じているかを見ることができます。

# 投資信託の預かり資産残高上位20銘柄コスト・リターン、リスク・リターン（2023年3月）

	ファンド名	コスト	リスク	リターン
1	しんきんJリートオープン（毎月決算型）	1.49%	14.60%	3.17%
2	リスク抑制世界8資産バランスファンド	0.98%	3.32%	-0.48%
3	トヨタ自動車／トヨタグループ株式ファンド	1.09%	20.73%	5.16%
4	しんきん3資産ファンド（毎月決算型）	1.49%	9.31%	3.74%
5	グローバルAIファンド	2.59%	27.13%	15.08%
6	三井住友・グローバル・リート・オープン	2.41%	20.68%	3.52%
7	しんきん世界好配当利回り株ファンド（毎月決算型）	2.09%	22.56%	9.24%
8	しんきん世界アロケーションファンド	1.49%	3.12%	-1.65%
9	しんきんインデックスファンド225	0.88%	17.04%	6.60%
10	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	1.71%	4.75%	1.60%
11	投資のソムリエ	2.20%	3.72%	-0.44%
12	ニッセイ／パトナム・毎月分配インカムオープン	2.20%	5.76%	4.20%
13	しんきん好配当利回り株ファンド	1.32%	15.39%	4.16%
14	しんきんJリートオープン（1年決算型）	1.46%	14.58%	3.32%
15	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド（為替ノーヘッジ型）	1.19%	18.26%	12.55%
16	三井住友・げんきシニアライフ・オープン	2.20%	16.50%	-2.63%
17	しんきんJPX日経400オープン	0.88%	15.29%	5.35%
18	DIAM高格付インカム・オープン（1年決算コース）	1.54%	7.84%	2.34%
19	たわらノーロードバランス（8資産均等型）	0.14%	10.14%	5.41%
20	グローバル・ソブリン・オープン（資産成長型）	1.71%	4.75%	1.65%

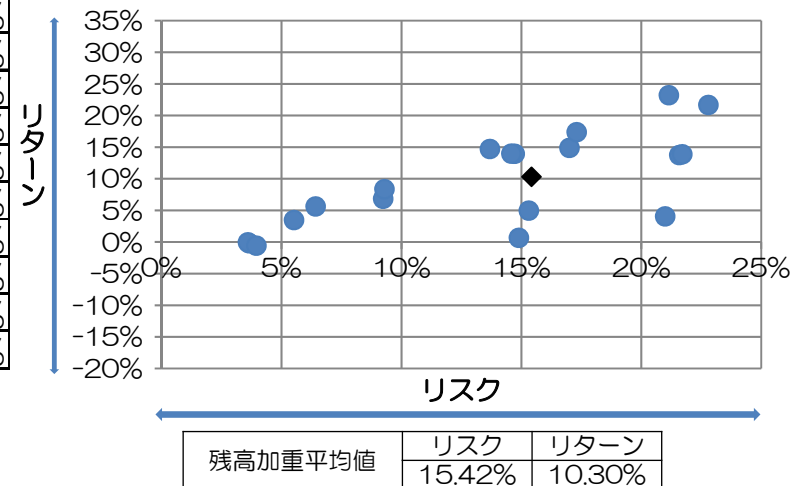
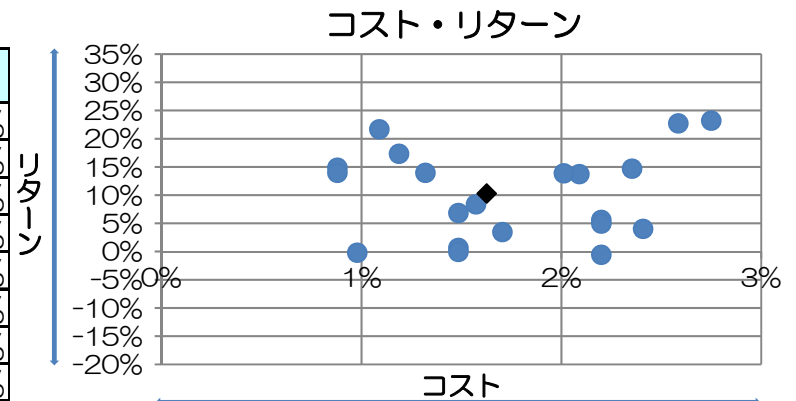


基準日 : 2023年3月末時点  
 対象ファンド : 2023年3月末時点で運用期間5年以上の銘柄にて算出  
 コスト : (販売手数料率÷5) + 信託報酬 (年率)  
 リターン : 過去5年間のトータルリターン (年率換算)  
 リスク : 過去5年間の月次リターンの標準偏差 (年率換算)  
 中長期的に、金融機関がどのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを見ることができます。



# 投資信託の預かり資産残高上位20銘柄コスト・リターン、リスク・リターン（2024年3月）

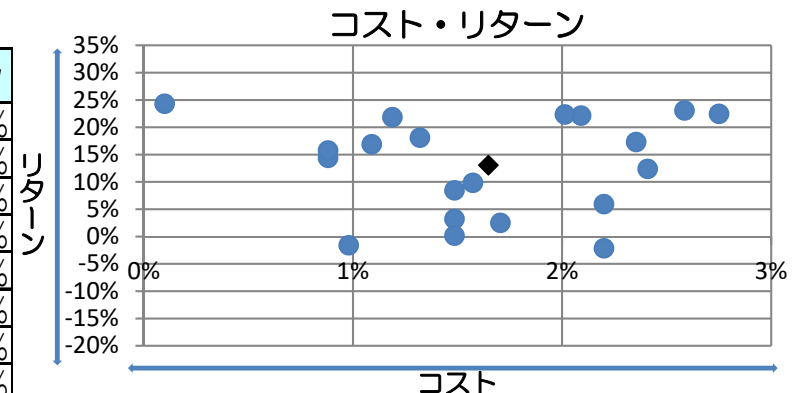
	ファンド名	コスト	リスク	リターン
1	トヨタ自動車／トヨタグループ株式ファンド	1.09%	22.80%	21.66%
2	しんきんJリートオープン（毎月決算型）	1.49%	14.90%	0.65%
3	リスク抑制世界8資産バランスファンド	0.98%	3.65%	-0.21%
4	しんきん3資産ファンド（毎月決算型）	1.49%	9.24%	6.82%
5	グローバルSDGs株式ファンド	2.35%	13.69%	14.70%
6	グローバルAIファンド	2.59%	27.67%	22.74%
7	しんきん世界好配当利回り株（毎月決算型）	2.09%	21.59%	13.74%
8	三井住友グローバルリート（毎月決算型）	2.41%	21.00%	4.04%
9	しんきんインデックスファンド225	0.88%	17.00%	14.87%
10	しんきん世界アロケーションファンド	1.49%	3.60%	-0.06%
11	ニッセイ／パトナム・毎月分配インカム	2.20%	6.42%	5.62%
12	グローバル・ソブリン・オープン毎月決算型	1.71%	5.52%	3.47%
13	投資のソムリエ	2.20%	3.95%	-0.57%
14	しんきん好配当利回り株ファンド	1.32%	14.72%	13.95%
15	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド（為替ノーヘッジ型）	1.19%	17.31%	17.35%
16	netWINGSテクノロジー株BHなし	2.75%	21.15%	23.19%
17	しんきんJPX日経400オープン	0.88%	14.58%	13.97%
18	のむらっぴ・ファンド（普通型）	1.57%	9.29%	8.36%
19	三井住友・げんきシニアライフ・オープン	2.20%	15.31%	4.96%
20	しんきん世界好配当利回り株（1年決算型）	2.01%	21.71%	13.87%



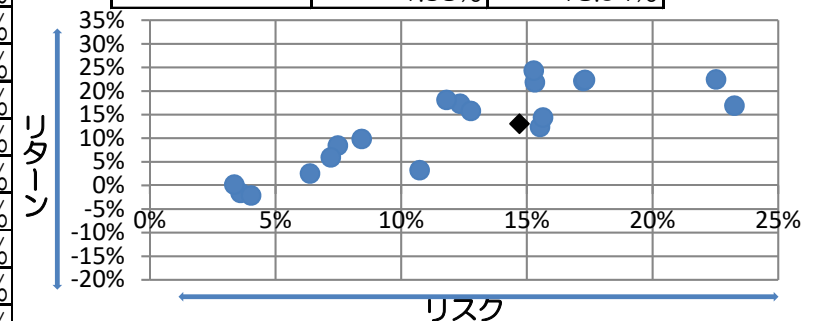
基準日 : 2024年3月末時点  
 対象ファンド : 2024年3月末時点で運用期間5年以上の銘柄にて算出  
 コスト : (販売手数料率÷5) + 信託報酬 (年率)  
 リターン : 過去5年間のトータルリターン (年率換算)  
 リスク : 過去5年間の月次リターンの標準偏差 (年率換算)  
 中長期的に、金融機関がどのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを見ることができます。

# 投資信託の預かり資産残高上位20銘柄コスト・リターン、リスク・リターン（2025年3月）

	ファンド名	コスト	リスク	リターン
1	トヨタ自動車／トヨタグループ株式ファンド	1.09%	23.26%	16.89%
2	しんきんJリートオープン（毎月決算型）	1.49%	10.73%	3.21%
3	しんきん3資産ファンド（毎月決算型）	1.49%	7.48%	8.44%
4	しんきん世界好配当利回り株ファンド（毎月決算型）	2.09%	17.25%	22.12%
5	グローバルAIファンド	2.59%	27.28%	23.07%
6	グローバルSDGs株式ファンド	2.35%	12.35%	17.29%
7	リスク抑制世界8資産バランスファンド	0.98%	3.61%	-1.60%
8	三井住友・グローバル・リート・オープン	2.41%	15.52%	12.39%
9	しんきんインデックスファンド225	0.88%	15.64%	14.38%
10	しんきん世界アロケーションファンド	1.49%	3.36%	0.16%
11	のむラップ・ファンド（普通型）	1.57%	8.43%	9.83%
12	ニッセイ／パトナム・毎月分配インカムオープン	2.20%	7.20%	5.94%
13	netWIN GSテクノロジー株式ファンド Bコース（為替ヘッジなし）	2.75%	22.53%	22.45%
14	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド（為替ノーヘッジ型）	1.19%	15.32%	21.83%
15	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	1.71%	6.38%	2.49%
16	しんきん好配当利回り株ファンド	1.32%	11.80%	18.10%
17	しんきん世界好配当利回り株ファンド（1年決算型）	2.01%	17.31%	22.33%
18	たわらノーロード 先進国株式	0.10%	15.27%	24.29%
19	しんきんJPX日経400オープン	0.88%	12.77%	15.75%
20	投資のソムリエ	2.20%	4.03%	-2.16%



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.65%	13.04%



残高加重平均値	リスク	リターン
	14.71%	13.04%

基準日 : 2025年3月末時点  
 対象ファンド : 2025年3月末時点で運用期間5年以上の銘柄にて算出  
 コスト : (販売手数料率÷5) + 信託報酬 (年率)  
 リターン : 過去5年間のトータルリターン (年率換算)  
 リスク : 過去5年間の月次リターンの標準偏差 (年率換算)  
 中長期的に、金融機関がどのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを見ることができます。

# 投資信託販売上位10銘柄 販売額の割合

## 2022年度

No	ファンド名	販売割合
1	しんきんS&P500インデックスファンド	17.0%
2	しんきんJリートオープン（毎月決算型）	16.6%
3	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	13.9%
4	グローバルAIファンド	9.2%
5	しんきん世界好配当利回り株ファンド	9.0%
6	グローバルSDGs株式ファンド	6.7%
7	しんきん3資産ファンド（毎月決算型）	4.5%
8	しんきんインデックスファンド225	3.9%
9	ニッセイ/バトナム・毎月分配インカムオープン	3.3%
10	リスク抑制世界8資産バランスファンド	2.7%

## 2023年度

No	ファンド名	販売割合
1	しんきんS&P500インデックスファンド	16.3%
2	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	16.2%
3	しんきん世界好配当利回り株ファンド	10.4%
4	グローバルSDGs株式ファンド	7.1%
5	インデックスファンドNASDAQ100	6.3%
6	netWINGSテクノロジー株式ファンド Bコース（為替ヘッジなし）	5.9%
7	のむらっぴ・ファンド（普通型）	5.1%
8	グローバルAIファンド	4.7%
9	しんきん世界好配当利回り株ファンド（1年）	4.6%
10	ニッセイ/バトナム・毎月分配インカムオープン	3.5%

## 2024年度

No	ファンド名	販売割合
1	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	22.4%
2	しんきんS&P500インデックスファンド	17.1%
3	インデックスファンドNASDAQ100	9.7%
4	しんきん世界好配当利回り株ファンド	8.0%
5	のむらっぴ・ファンド（普通型）	6.9%
6	netWINGSテクノロジー株式ファンド Bコース（為替ヘッジなし）	5.3%
7	しんきんインデックスファンド225	4.5%
8	グローバルAIファンド	4.1%
9	グローバルSDGs株式ファンド	3.7%
10	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・ インデックスファンド（為替ノーヘッジ型）	3.1%

## NISAつみたて投資枠 2024年度販売上位5銘柄



No	ファンド名	販売割合
1	たわらノーロード先進国株式（為替ノーヘッジ型）	42.7%
2	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド（為替ノーヘッジ型）	20.0%
3	たわらノーロードバランス（8資産均等型）	12.4%
4	たわらノーロード日経225	7.8%
5	たわらノーロードTOPIX	6.9%



## 金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」との対応関係表

金融事業者の名称		半田信用金庫		
■取組方針掲載のページURL		<a href="https://www.hanshin-ca.co.jp/009/009-02/0090215-01.html">https://www.hanshin-ca.co.jp/009/009-02/0090215-01.html</a>		
■取組状況掲載のページURL		<a href="https://www.hanshin-ca.co.jp/009/009d/0090215-01.pdf">https://www.hanshin-ca.co.jp/009/009d/0090215-01.pdf</a>		
原則		実施・不実施	取組方針の該当箇所	取組状況の該当箇所
原則 2	【顧客の最善の利益の追求】 金融事業者は、高度の専門性と職業倫理を保持し、顧客に対して誠実・公正に業務を行い、顧客の最善の利益を図るべきである。金融事業者は、こうした業務運営が企業文化として定着するように努めるべきである。	実施	1.お客さまの最善の利益を追求	P3. 1.お客さまの最善の利益を追求 P11.3.お客さま本位の業務運営を実践するための態勢
	(注) 金融事業者は、顧客との取引に際し、顧客本位の良質なサービスを提供し、顧客の最善の利益を図ることにより、自らの安定した顧客基盤と収益の確保につなげていくことを目指すべきである。	実施	1.お客さまの最善の利益を追求	P3. 1.お客さまの最善の利益を追求 P11.3.お客さま本位の業務運営を実践するための態勢
原則 3	【利益相反の適切な管理】 金融事業者は、取引における顧客との利益相反の可能性について正確に把握し、利益相反の可能性がある場合には、当該利益相反を適切に管理すべきである。金融事業者は、そのための具体的な対応方針をあらかじめ策定すべきである。	実施	2.利益相反の適切な管理	P3. 2.利益相反の適切な管理
	(注) 金融事業者は、利益相反の可能性を判断するに当たって、例えば、以下の事情が取引又は業務に及ぼす影響についても考慮すべきである。 ・販売会社が、金融商品の顧客への販売・推奨等に伴って、当該商品の提供会社から、委託手数料等の支払を受ける場合 ・販売会社が同一グループに属する別の会社から提供を受けた商品を販売・推奨等する場合 ・同一主体又はグループ内に法人営業部門と運用部門を有しており、当該運用部門が、資産の運用先に法人営業部門が取引関係等を有する企業を選ぶ場合	実施	2.利益相反の適切な管理	P3. 2.利益相反の適切な管理
原則 4	【手数料等の明確化】 金融事業者は、名目を問わず、顧客が負担する手数料その他の費用の詳細を、当該手数料等がどのようなサービスの対価に関するものかを含め、顧客が理解できるよう情報提供すべきである。	実施	4.商品・サービス等の分かりやすい説明	P4. 3.商品・サービス等の分かりやすい説明 P8.2.お客さまの多様なニーズにお応えできるように厳選した商品をラインアップ
原則 5	【重要な情報の分かりやすい提供】 金融事業者は、顧客との情報の情報の非対称性があることを踏まえ、上記原則4に示された事項のほか、金融商品・サービスの販売・推奨等に係る重要な情報を顧客が理解できるよう分かりやすく提供すべきである。	実施	4.商品・サービス等の分かりやすい説明	P4. 3.商品・サービス等の分かりやすい説明 P8.2.お客さまの多様なニーズにお応えできるように厳選した商品をラインアップ

原則 5	(注1)	重要な情報には以下の内容が含まれるべきである。 ・顧客に対して販売・推奨を行う金融商品・サービスの基本的な利益（リターン）、損失その他のリスク、取引条件 ・顧客に対して販売・推奨等を行う金融商品の組成に携わる金融事業者が販売対象として想定する顧客属性 ・顧客に対して販売・推奨等を行う金融商品・サービスの選定理由（顧客のニーズ及び意向を踏まえたものであると判断する理由を含む） ・顧客に販売・推奨等を行う金融商品・サービスについて、顧客との利益相反の可能性がある場合には、その具体的内容（第三者から受け取る手数料等を含む）及びこれが取引又は業務に及ぼす内容	実施	3.お客さまのニーズに沿ったサービスの提供	P4.4.お客さまのニーズに沿ったサービスの提供 P8.2.お客さまの多様なニーズにお応えできるように厳選した商品をラインアップ
	(注2)	金融事業者は、複数の金融商品・サービスをパッケージとして販売・推奨等をする場合には、個別に購入することが可能であるかを顧客に示すとともに、パッケージ化する場合としない場合を顧客が比較することが可能となるよう、それぞれの重要な情報について提供すべきである。（（注2）～（注5）は手数料等の情報を提供する場合においても同じ）。	非該当	当金庫では、複数の金融商品・サービスをパッケージ化した商品の取扱いをしておりません。	当金庫では、複数の金融商品・サービスをパッケージ化した商品の取扱いをしておりません。
	(注3)	金融事業者は、顧客の取引経験や金融知識を考慮の上、明確、平易であって、誤解を招くことのない誠実な内容の情報提供を行うべきである。	実施	4.商品・サービス等の分かりやすい説明	P4.4.お客さまのニーズに沿ったサービスの提供 P11.3.お客さま本位の業務運営を実践するための態勢
	(注4)	金融事業者は、顧客に対して販売・推奨等を行う金融商品・サービスの複雑さに見合った情報提供を、分かりやすく行うべきである。単純でリスクの低い商品の販売・推奨等を行う場合には簡潔な情報提供とする一方、複雑又はリスクの高い商品の販売・推奨等を行う場合には、顧客において同種の商品の内容と比較することが容易となるように配慮した資料を用いつつ、リスクとリターンの関係など基本的な構造を含め、より分かりやすく丁寧な情報提供がなされるよう工夫すべきである。	実施	4.商品・サービス等の分かりやすい説明	P4. 3.商品・サービス等の分かりやすい説明 P8.2.お客さまの多様なニーズにお応えできるように厳選した商品をラインアップ P11.3.お客さま本位の業務運営を実践するための態勢
	(注5)	金融事業者は、顧客に対して情報を提供する際には、情報を重要性に応じて区別し、より重要な情報については特に強調するなどして顧客の注意を促すべきである。	実施	3.お客さまのニーズに沿ったサービスの提供	P4. 3.商品・サービス等の分かりやすい説明 P8.2.お客さまの多様なニーズにお応えできるように厳選した商品をラインアップ
原則 6	【顧客にふさわしいサービスの提供】 金融事業者は、顧客の資産状況、取引経験、知識及び取引目的・ニーズを把握し、当該顧客にふさわしい金融商品・サービスの組成、販売・推奨等を行うべきである。		実施	3.お客さまのニーズに沿ったサービスの提供	P4.4.お客さまのニーズに沿ったサービスの提供 P6.1.お客さまのライフプランやご意向に沿ったご提案
	(注1)	金融事業者は、金融商品・サービスの販売・推奨等に関し、以下の点に留意すべきである。 ・顧客の意向を確認した上で、まず、顧客のライフプラン等を踏まえた目標資産額や安全資産と投資性資産の適切な割合を検討し、それに基づき、具体的な金融資産・サービスの提案を行うこと ・具体的な金融商品・サービスの提案は、自らが取り扱う金融商品・サービスについて、各業法の枠を超えて横断的に、類似商品・サービスや代替商品・サービスの内容（手数料を含む）と比較しながら行うこと ・金融商品・サービスの販売後において、顧客の意向に基づき、長期的な視点にも配慮した適切なフォローアップを行うこと	実施	3.お客さまのニーズに沿ったサービスの提供	P4.4.お客さまのニーズに沿ったサービスの提供 P6.1.お客さまのライフプランやご意向に沿ったご提案 P8.2.お客さまの多様なニーズにお応えできるように厳選した商品をラインアップ
	(注2)	金融事業者は、複数の金融商品・サービスをパッケージとして販売・推奨等する場合には、当該パッケージ全体が当該顧客にふさわしいかについて留意すべきである。	非該当	当金庫では、複数の金融商品・サービスをパッケージ化した商品の取扱いをしておりません。	当金庫では、複数の金融商品・サービスをパッケージ化した商品の取扱いをしておりません。



原則 6	(注3)	金融商品の組成に携わる金融事業者は、商品の組成に当たり、商品の特性を踏まえて、販売対象として想定する顧客属性を特定・公表するとともに、商品の販売に携わる金融事業者においてそれに沿った販売がなされるように留意すべきである。	非該当	当金庫は、金融商品の組成に携わる金融事業者に該当しません。	当金庫は、金融商品の組成に携わる金融事業者に該当しません。
	(注4)	金融事業者は、特に、複雑又はリスクの高い金融商品の販売・推奨等を行う場合や、金融取引被害を受けやすい属性の顧客グループに対して商品の販売・推奨等を行う場合には、商品や顧客の属性に応じ、当該商品の販売・推奨等が適当かより慎重に審査すべきである。	実施	3.お客さまのニーズに沿ったサービスの提供	P4.4.お客さまのニーズに沿ったサービスの提供 P6.1.お客さまのライフプランやご意向に沿ったご提案
	(注5)	金融事業者は、従業員がその取り扱う金融商品の仕組み等に係る理解を深めるよう努めるとともに、顧客に対して、その属性に応じ、金融取引に関する基本的な知識を得られるための情報提供を積極的に行うべきである。	実施	5.職員に対する適切な動機づけの枠組み等	P5.5.職員に対する適切な動機づけの枠組み等 P11.3.お客さま本位の業務運営を実践するための態勢
原則 7	【従業員に対する適切な動機づけの枠組み等】 金融事業者は、顧客の最善の利益を追求するための行動、顧客の公正な取扱い、利益相反の適切な管理等を促進するように設計された報酬・業績評価体系、従業員研修その他の適切な動機づけの枠組みや適切なガバナンス体制を整備すべきである。		実施	5.職員に対する適切な動機づけの枠組み等	P5.5.職員に対する適切な動機づけの枠組み等 P11.3.お客さま本位の業務運営を実践するための態勢
	(注)	金融事業者は、各原則（これらに付されている注を含む）に関して実施する内容及び実施しない代わりに講じる代替策の内容について、これらに携わる従業員に周知するとともに、当該従業員の業務を支援・検証するための体制を整備すべきである。	実施	5.職員に対する適切な動機づけの枠組み等	P5.5.職員に対する適切な動機づけの枠組み等 P11.3.お客さま本位の業務運営を実践するための態勢

【照会先】

部署： 業務推進部  
電話番号： 0569-26-6850  
メールアドレス： gyousui-552@hanshin-ca.co.jp